

山松之松

局長 松本 功
編集長 松本 功
発行所 松本 功
35号 上野
〒100 東京都千代田区上野3-35
電話 351-1111

高校二教室増築を 追加

米価すえおき 反対意見書 採択

六月二十日開催 助成金五十四万四千四百円。高校二教室増築したの引き続き、米価すえおき反対意見書を採択した。米価すえおき反対意見書は、米価すえおき反対意見書採択委員会が六月二十日開催、議決文書を作成し、六月二十日、議決文書が採択された。米価すえおき反対意見書採択委員会は、米価すえおき反対意見書採択委員会が六月二十日開催、議決文書を作成し、六月二十日、議決文書が採択された。



米価すえおき反対意見書採択委員会が六月二十日開催、議決文書を作成し、六月二十日、議決文書が採択された。

議員町民懇談会

町議が各町民と懇談する。七月二十日午前九時、議員町民懇談会が開催された。町議は、町民の意見や要望を聴き、町政の改善に努めることとした。

稲作講習会

七月十七日、稲作講習会が開催された。講師は、農業技術者で、稲作の技術や病害虫の予防について講義を行った。

出稼者共助会設立を検討

出稼者共助会設立を検討中。出稼者の生活改善や災害救助を目的として、共助会の設立を検討している。

どじょう出荷組合発足

どじょう出荷組合が発足した。どじょうの出荷を円滑に行うため、組合員による出荷活動が行われる。

過剰の積返上り

過剰の積返上り。積返上りの状況や原因について詳しく説明されている。

請求する人がすくない

請求する人がすくない。請求の状況や理由について詳しく説明されている。

自分の血圧

自分の血圧を測ろう。血圧の重要性や測定方法について詳しく説明されている。

出稼者健康診断

出稼者の健康診断。健康診断の重要性や実施方法について詳しく説明されている。

出稼者共助会設立を検討。出稼者の生活改善や災害救助を目的として、共助会の設立を検討している。

どじょう出荷組合発足。どじょうの出荷を円滑に行うため、組合員による出荷活動が行われる。

過剰の積返上り。積返上りの状況や原因について詳しく説明されている。

請求する人がすくない。請求の状況や理由について詳しく説明されている。

自分の血圧を測ろう。血圧の重要性や測定方法について詳しく説明されている。

出稼者健康診断。健康診断の重要性や実施方法について詳しく説明されている。

過剰の積返上り。積返上りの状況や原因について詳しく説明されている。

どじょう出荷組合発足。どじょうの出荷を円滑に行うため、組合員による出荷活動が行われる。

請求する人がすくない。請求の状況や理由について詳しく説明されている。

自分の血圧を測ろう。血圧の重要性や測定方法について詳しく説明されている。

出稼者健康診断。健康診断の重要性や実施方法について詳しく説明されている。

出稼者健康診断。健康診断の重要性や実施方法について詳しく説明されている。

地区	人数
山松	70人
浦田	58人
東川	64人
浦田	41人
計	266人

山松の花は美しい。山松の花の美しさや特徴について詳しく説明されている。

請求する人がすくない。請求の状況や理由について詳しく説明されている。

特 集 隠れキリシタン

全国に三体のマリア像

湯山松陰寺に

群馬の山奥の 部落にも

伴天連は沼田 から越後へ

道すがら 秘かに 布教しながら

石の彫刻師は 信州の高遠から

木喰上人が子供 をだいた観音を 彫った

松之山にあって、群馬の山奥の部落にも、隠れキリシタンの歴史が刻まれている。それは、伴天連の足跡に始まる。彼が、信濃の沼田から越後の湯山松陰寺へと、石の彫刻師を連れて来た。そして、そこには、木喰上人が彫った、子供を抱いたマリアの像が、今も静かに佇んでいる。この像は、全国に三つあるマリア像の一つである。その歴史、その背景、そして、その彫刻師の物語を、この特集を通じて、詳しく紹介する。



マリア抱乳 湯山松陰寺所在
彫刻の先端に十字があり、この
彫刻はとりはずすことができる
(木喰)

年 表	事 件
1330	●ポルトガル船種子島に漂着し観音を伝へる。 ●長尾景虎が足利義満の養子となり春日山城に入る。 ●ポルトガルが鹿児島に上陸し布教を開始する。
1560	●ポルトガルが大内義隆の許可をえて山口で布教する。 ●ポルトガル大坂城から布教の許可を得る。 ●長尾景虎が関東管領となり上杉政虎と改称する。 ●信長、徳川家康がプロテスタントの大名として布教する。 ●ポルトガルの船長、平戸をさけ福江湾に入る。
1570	●信長の旗本隊、奥田の騎馬隊を長瀬に破る。 ●奥田信玄、上杉謙信死す。 ●信長安土城をまざる。
1580	●本願寺の築(信長、信忠死す) ●秀吉、伴天連渡辺を降す。 ●秀吉、大坂城をまざる。
1590	●長崎でフランス司教派宣教師ら26人殉教する。 ●秀吉死す。 ●家康内大坂となる。
1610	●徳川家康、征夷大将軍となり江戸に幕府ひらく。 ●江戸幕府最初の禁教令が発布される。 ●関ヶ原の戦い。
1620	●家康キリシタン禁教令を出す。 ●幕府キリシタンを降す。 ●寛政のキリシタン禁教令を発布する。
1630	●伴天連沼田から越後に入る。 ●長崎において55人の殉教。 ●路給をはじめる。
1640	●島原の乱。 ●秀忠が没す。家光親政となる。 ●ポルトガルの来航を禁ず(鎖国令)。

それが、運命の打撃を受ける。湯山松陰寺に、マリア像が彫られた。それは、伴天連の足跡に始まる。彼が、信濃の沼田から越後の湯山松陰寺へと、石の彫刻師を連れて来た。そして、そこには、木喰上人が彫った、子供を抱いたマリアの像が、今も静かに佇んでいる。この像は、全国に三つあるマリア像の一つである。その歴史、その背景、そして、その彫刻師の物語を、この特集を通じて、詳しく紹介する。

石の彫刻師は、信州の高遠から来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。

木喰上人が子供を抱いた観音を彫った。これは、木喰上人の代表作の一つである。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。木喰上人は、この像を彫るために、信州の高遠から湯山松陰寺へと来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。

湯山松陰寺に、マリア像が彫られた。それは、伴天連の足跡に始まる。彼が、信濃の沼田から越後の湯山松陰寺へと、石の彫刻師を連れて来た。そして、そこには、木喰上人が彫った、子供を抱いたマリアの像が、今も静かに佇んでいる。この像は、全国に三つあるマリア像の一つである。その歴史、その背景、そして、その彫刻師の物語を、この特集を通じて、詳しく紹介する。

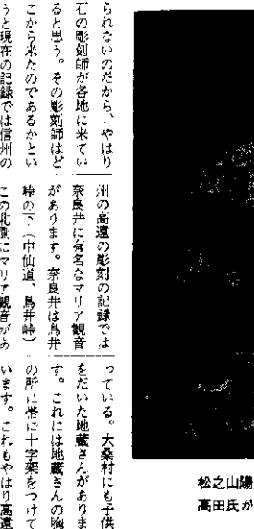
石の彫刻師は、信州の高遠から来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。

木喰上人が子供を抱いた観音を彫った。これは、木喰上人の代表作の一つである。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。木喰上人は、この像を彫るために、信州の高遠から湯山松陰寺へと来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。

湯山松陰寺に、マリア像が彫られた。それは、伴天連の足跡に始まる。彼が、信濃の沼田から越後の湯山松陰寺へと、石の彫刻師を連れて来た。そして、そこには、木喰上人が彫った、子供を抱いたマリアの像が、今も静かに佇んでいる。この像は、全国に三つあるマリア像の一つである。その歴史、その背景、そして、その彫刻師の物語を、この特集を通じて、詳しく紹介する。

石の彫刻師は、信州の高遠から来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。

木喰上人が子供を抱いた観音を彫った。これは、木喰上人の代表作の一つである。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。木喰上人は、この像を彫るために、信州の高遠から湯山松陰寺へと来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。



松之山湯山松陰寺にある石のマリア抱乳
高田氏が最初に発見したもの

湯山松陰寺に、マリア像が彫られた。それは、伴天連の足跡に始まる。彼が、信濃の沼田から越後の湯山松陰寺へと、石の彫刻師を連れて来た。そして、そこには、木喰上人が彫った、子供を抱いたマリアの像が、今も静かに佇んでいる。この像は、全国に三つあるマリア像の一つである。その歴史、その背景、そして、その彫刻師の物語を、この特集を通じて、詳しく紹介する。

石の彫刻師は、信州の高遠から来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。

木喰上人が子供を抱いた観音を彫った。これは、木喰上人の代表作の一つである。この像は、信州の高遠にあり、今も静かに佇んでいる。木喰上人は、この像を彫るために、信州の高遠から湯山松陰寺へと来た。彼は、信州の高遠で修行し、彫刻の技術を磨いた。そして、伴天連の足跡に導かれ、湯山松陰寺へと来た。彼は、木喰上人の指導を受け、子供を抱いたマリアの像を彫った。



松之山湯山松陰寺にある石のマリア抱乳
高田氏が最初に発見したもの

